

●春うらら、散策が気持ちいい季節です

桃まつりの賑やかさもひと段落、ハナモモもサクラももう終わりですが、あざやかな新緑、草花に心も躍りますね。

○藤棚や野生のものなどたくさん

●綺麗な紫の花を咲かせる①フジ。定番の藤棚は公園内にもいくつかベンチの日よけを兼ねて設置されています。他にも野生のものが公方様の森などにいくつかありますのでマップを見ながら探してみてください。



①フジ

○薄紅色の～・・・ハナミズキ

●近年は歌でお馴染みの②ハナミズキ。公園では白のものが中山台で咲きます。実はこの花弁に見える部分は、総苞と言って葉が花全体を包むように変形したものなんです。ちなみに薄紅色のものは、孔雀小屋前の小さな池の裏に咲きます。



②ハナミズキ



○えっ？これが桜！？

●桜と言えばソメイヨシノが有名ですが、ウワミズザクラとイヌザクラをご存知ですか。

どちらも高木で、花は白いブラシ状の花序（花の集まり）を付けます。とてもよく似ていますが、見分け方は、花序が付く枝に葉も付くのがウワミズザクラです。ソメイヨシノとは見た目が全く異なりますが、同じバラ科サクラ属の植物です。高い位置に咲くので、見上げて探してください。



③ウワミズザクラ



④イヌザクラ



●中山台のブランコの木

・垂れ下がったツルが子供たちの格好の遊び場となっている公園の名物木⑦「ブランコの木」もフジです。

樹齢は不明ですが、昭和50年の開園当初からすでに自生していたそうですよ。



○民家園にはこんな花



⑤ハナカイドウ



⑥ハナズオウ

●数は多くないものの、いろいろな花が咲く民家園ではピンクの⑥ハナカイドウがお出迎え。原産地の中国ではその花の美しさから、楊貴妃の眠る姿になぞらえて、美人の例えに使われるそうですよ。公園内に1本のみの⑥ハナズオウは、枝から直接花が咲き、花の後にハート形の葉、豆果を付けるちょっと変わった樹木です。



⑧春草席

○春草席で一息

●民家園を出て、公方様の森を右手に下っていくと、朱子の七言絶句「偶成」からとって名付けられた休憩所⑧春草席が見えてきます。周辺の懐かしい景色と、モダンな展望デッキのとりあわせを楽しみながら、一息つきましょう。

○ほかにも花や野草いろいろ



ナズナ

●春の季語にもなっているヤマブキは園内のあちらこちらで鮮やかな黄色が目に残ります。

子供のころ良く遊んだペンペン草。

正式名称は「ナズナ」で春の七草であることは、意外と皆さん知らないかもしれませんね。



ヤマブキ

●春の公園は何気ない景色の中にたくさん発見があります。てくてく探してみましよう！